

りゅうおう

議会だより

No.197
2021年11月1日
滋賀県竜王町議会

実りの秋
生活にも実りを



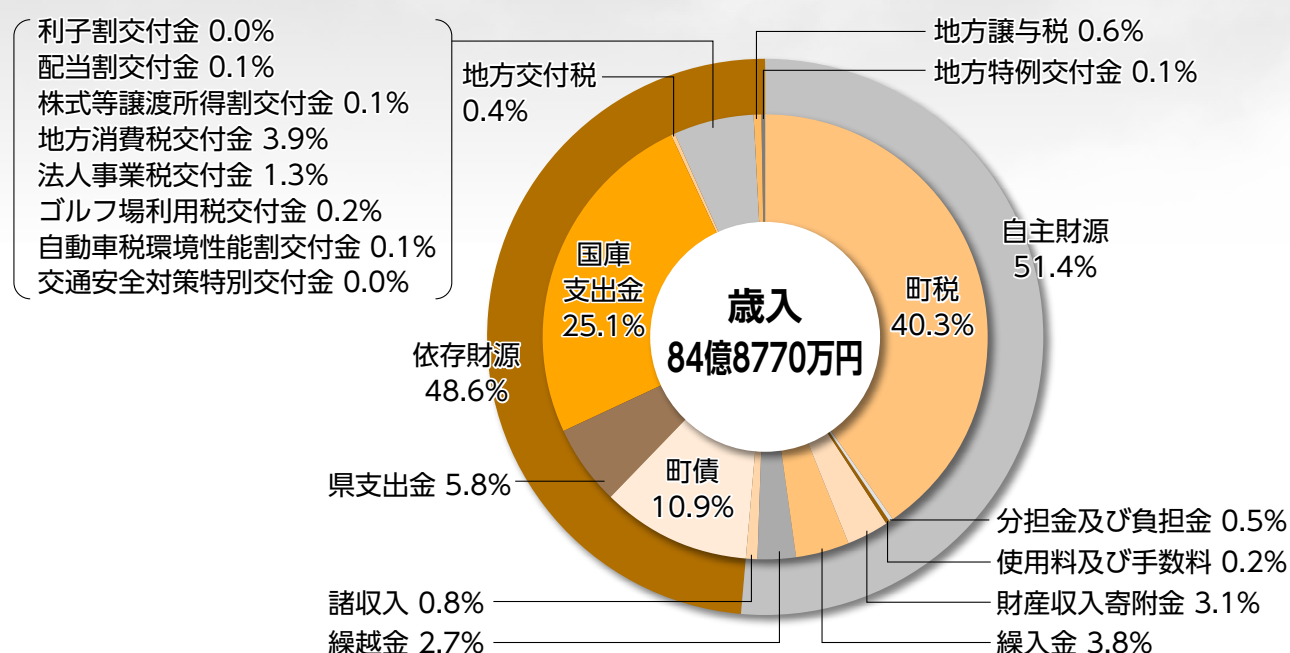
- 定例会報告 P2～ 令和2年度決算
- 委員会報告 P6～ 水道料金の改定は
- 一般質問 P10～ 災害に強いまちづくりを
- アンケート P19 あなたの声、活かしたい

9月
定例会

令和3年第3回定例会は、9月2日から29日までの28日間の会期で開かれました。今回の定例会では、条例関係4件、補正予算6件、令和2年度決算認定8件、人事案件3件、請願4件、その他5件の合計30議案を審議しました。

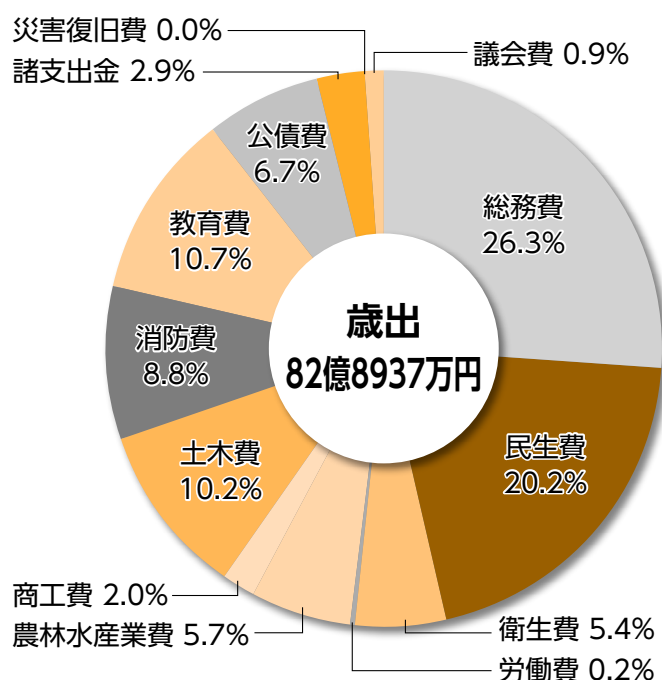
令和2年度一般会計決算

令和2年度の決算額は、歳入が前年比約20億円増の84億8770万円、歳出が約21億円増の82億8937万円となりました。この大きな要因は新型コロナウイルス感染症対策として、一人10万円の特別定額給付金事業や地方創生臨時交付金があったためです。その他、GIGAスクール構想による一人一台のタブレット端末導入やプレミアム商品券事業、給食費の無償化支援などが行われました。



令和2年度の特徴的な事業

- ・ 特別定額給付金事業(総務費)
12億495万円
- ・ 小学校コンピュータ整備事業(教育費)
7253万円
- ・ 中学校コンピュータ整備事業(教育費)
3347万円
- ・ 給食費の無償化支援(教育費)
1520万円
- ・ プレミアム商品券事業(商工費)
4055万円



決算審査とは何のこと??

決算審査では、行政のお金の使い途を全て記載した決算書と報告書（代表的な事業を明記）をもとに使途の目的や、税金を使った効果を議員が質問しています。予算が当初の計画に基づいた使われ方がされたか、前年度と比べて金額は増えたのか減ったのか、その結果を受けて今後は継続していくのか、ということを議論しています。

令和 2 年度はどんな一年だった？

令和 2 年度決算は、国の交付金の影響で過去最大規模の予算となりました。一方で、コロナ禍により中止となった事業も数多くあります。財政規模は大きくなっても補助事業が中心となった一年間でした。

歳入の面では、令和元年度と比べて大きく減ったのが法人町民税です。法人町民税とは一人ひとりが払う住民税（町民税）の企業版です。令和元年度は13.2億円でしたが、令和 2 年度は6.6億円と大きく減りました。コロナ禍で経済も低調となったためです。法人税の減収は、町内の企業・事業所の収入減を大きく反映したものとなりました。

県内の他市町との比較は？

県内の他市町の速報値と比較すると、財政の圧迫度は低い位置で推移しているため、竜王町は県内でも比較的良好な財政状況にあると言えます。しかし、令和 2 年度の決算はコロナ禍で発生した経済の停滞を十分に反映したものではなく、来年度以降、竜王町の財政状況には十分に留意する必要があります。

項 目	竜王町	県内平均	県内19市町中
財政力指数（財政力）	1.146	0.71	1 位
経常収支比率（弾力性）	88.2%	92.3%	同率 1 位
実質公債費比率（借金の割合）	7.7%	6.36%	7 位
実質収支比率（財政の圧迫度）	3.9%	5.02%	同率14位

※令和 2 年度速報値

財 政 力 指 数：財源の余力を表す指数。1 を越えると国の地方交付税の不交付団体となる。

経 常 収 支 比 率：数値が100に近づくほど財政が硬直化し自由に使える予算が少ない。

実 質 公 債 費 比 率：予算に占める公債（借金）の返済割合、低いほど財政に弾力性がある。

実 質 収 支 比 率：歳出に対する歳入の余りで、マイナスになると赤字となる。

決算審査の主な質疑応答

問 特定健診は新型コロナウイルスによって出来ない部分があった。人が集まるのは難しい中どのような工夫をしているのか。

答 これまで公民館でしか受診できなかった若年健診を、今年度から町内の医療機関で個別健診が出来るようにした。来年度も必要に応じて対応する。

問 県の保険者努力支援分について昨年度より増額された背景は。

答 市町分の点数配分について、県と質疑応答をしながら行った結果である。

問 町内の不明水（下水道における雨水等の浸入）の状況は。

答 松が丘地先で不明水が発生している。来年度以降に対応工事をすることを検討している。



問 高齢者虐待の内容と対応については。

答 介護の負担の増加によるものや、もとの家族内での関係によるものなど、要因も様々ある。施設サービス利用の提案など、高齢者の安全と家族の介護負担の軽減を狙って支援をしている。

問 コロナ禍で地域の事業が縮小されている。令和2年度は実行できていないものがあるか。

答 自治会から予算を立てたが執行できないという相談を受けた。接触の機会が減る中、形を変えて実施できるよう働きかけをしている。

問 観光入込客数の状況は。

答 日帰り客は30万人減少して120万人だった。道の駅が主な要因となっているが、休業期間と緊急事態宣言による減少があった。令和3年度も同様の状況にある。

問 スキヤキプロジェクトで、近江牛発祥の地として竜王町は定着してきたのか。

答 過去3年、国の交付金を活用して事業を行ってきた。昨年はコロナ禍で最小限のイベントとなったが、今後も企画を考えたい。



問 有害鳥獣駆除でイノシシの減少要因は。

答 令和2年度の捕獲数は26頭であり、豚熱が野生のイノシシに広まり減少傾向にある。それに伴い農作物の被害も減少している。

9月補正予算

・交通安全施設整備工事	300万円
・シティプロモーション事業	667万円
・事業継続支援金	1250万円
・時短要請協力金	1230万円
・酒類販売事業者支援金	150万円
・中心核整備推進業務委託料	1780万円
・チョイソコリゅうおう運行経費 ※ (債務負担行為補正)	3415万円
・外国語教育指導者（ALT）派遣業務 ※ (債務負担行為補正)	1683万円

※債務負担行為とは、単年度で終了しない事業などにおいて後年度の債務を約束することを予算で決めておくこと。

補正予算の主な質疑応答

問 横断歩道の整備場所はどのように選定したのか。

答 小中学校の通学路合同点検の結果や、道路管理者でパトロールを行い選定した。

問 事業継続支援金の内容は。

答 県の支援金を受給した事業者に対して一回限りで中小企業20万円、個人事業主10万円を上乗せ支給する。

問 シティプロモーション事業の詳細は。

答 町のPRコンセプトを絞り、アピールする層をターゲット化して動画やSNSを通じて広報を行う。現在、素材の写真や動画の撮影を行っている。

8月臨時会

令和3年第2回臨時会が、8月6日に行われました。マイナンバーカードの再交付に係る料金徴収に関する条例改正案、山之上地先にオープンする「あえんぼクリニック」の指定管理者の指定に関する2議案について審議をおこない、全員賛成で可決しました。



総務産業建設常任委員会

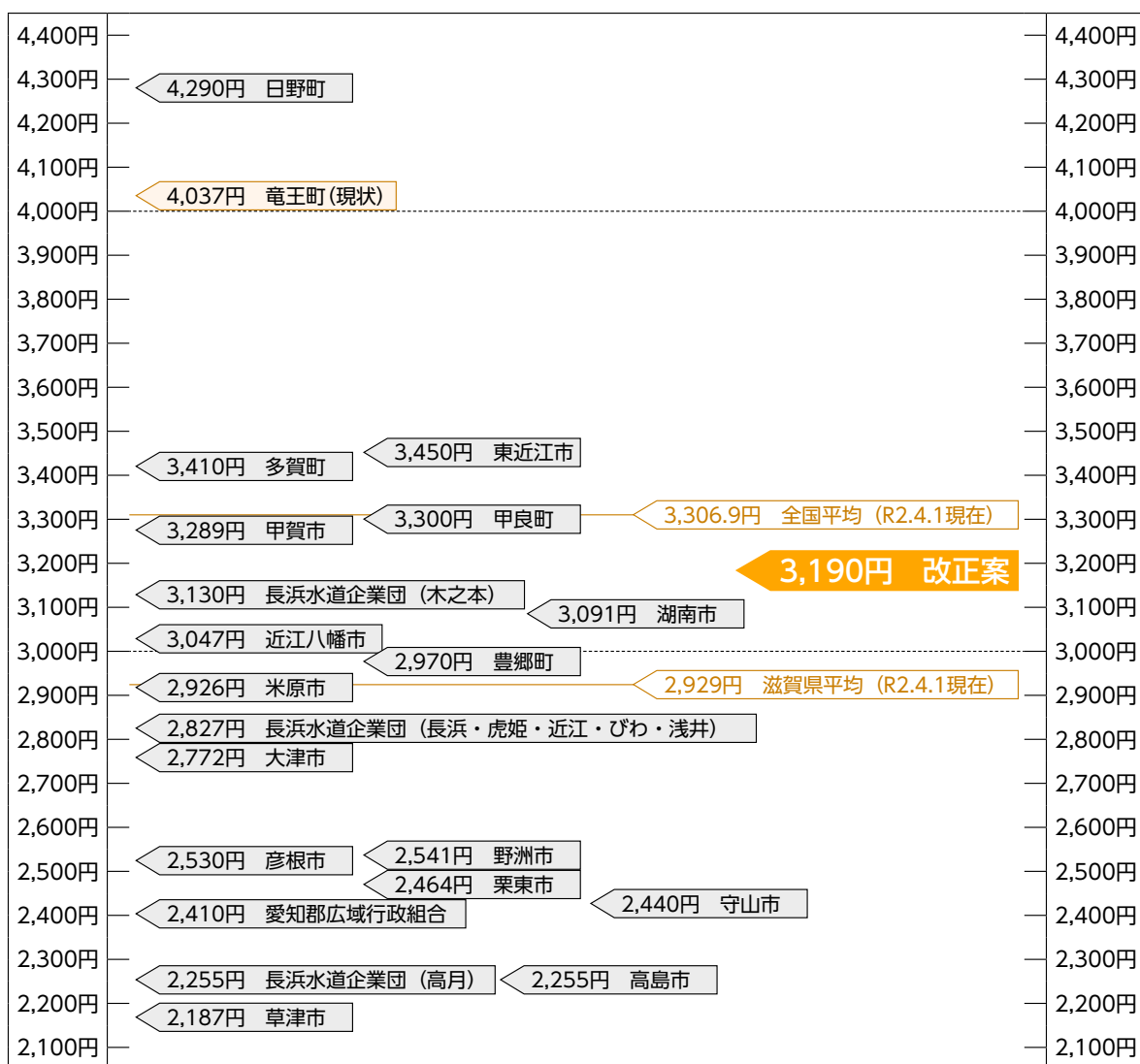


水道料金改定（案）について

1 改正条件

- 1 令和元年度の供給単価が小口径において大口径よりも高くなっていることからこれらを是正する。
- 2 令和元年度、口径13mmの使用率は93.2% この部分の減額見直しをする。
- 3 今後も安定した経営を行うため令和元年度と同等の給水収益を確保する。
- 4 改正時期は、令和4年4月（4月請求分）から適用する。

2 令和3年4月現在の水道使用料金比較（口径13mm、1ヶ月20㎡使った場合、消費税込み）



※全国平均は、公益社団法人日本水道協会発行の水道料金表（令和2年4月1日現在）より転記

主な質疑応答

問 過去にも水道料金の見直しがあったが、今回、今まで出来ていなかった見直しを町として前向きに取り組んでいくのか。

答 水道料金は過去25年間見直しておらず、水道料金が高いとの指摘もあり、経営戦略の策定等、住民サービスを考え改正を行うものである。

3 改正案（口径13mm・20mmの場合）

〈消費税別〉

口径	現行					改正案					
	基本料金 (1ヶ月)		超過料金 1㎡当たり		メーター 使用料	基本料金 (1ヶ月)		超過料金 1㎡当たり		メーター 使用料	平均 改定率 (R1比)
	基本 水量	基本 料金				基本 水量	基本 料金				
13mm	15㎡	3,000円	16㎡～	125円	50円	20㎡	2,900円	21～50㎡	140円	0円	-9.53%
								51～100㎡	150円		
								101～200㎡	170円		
								201～500㎡	180円		
								501㎡～	190円		
20mm	30㎡	6,000円	31㎡～	125円	100円	30㎡	5,800円	31～50㎡	140円	0円	6.44%
								51～100㎡	150円		
								101～200㎡	170円		
								201～500㎡	180円		
								501㎡～	190円		

※口径25mm、30mm、40mm、50mm、75mmの現行料金と改正案は省略しています。

要望事項

要 水道料金が上がる企業等へは、十分納得していただけるようにお願いしたい。

答 9月議会で承認後、水道料金システムの改修をする。町広報、ホームページ、チラシ等で周知し、企業へは丁寧に説明を行う。



各種請願に対する審議

請願※一覧

※国や地方自治体に意見や要望を提出することで、議員の紹介が必要となります。請願は担当の委員会で審査し本会議で採択か不採択が決定されます。

●米価下落に対する緊急対策措置を求める請願

請願者 滋賀県農政連盟竜王支部 **採択** ➡ 国に意見書を提出

●コロナ禍によるコメの需要改善と米価下落の対策を求める請願

請願者 滋賀県農民組合連合会 **不採択**

●竜王町コンパクトシティ化構想について早急に自治会で説明会を開催されることを求める請願

請願者 竜王町コンパクトシティ化構想を考える会 **不採択**

●米価下落に対する緊急対策措置を求める請願

請願者 竜王町稲作経営者研究会 **採択** ➡ 竜王町に請願を提出



近江うし丸

教育民生常任委員会



GIGA スクールの現状と課題について

ハード面の課題

- ・多くの端末が同時にネット接続しようとするインターネットに接続できない端末がある。時間帯、環境により変動するが既存のインターネット回線の容量等が原因と考える。

ハード面の対策

- ・インターネット回線を新たに設け、既存は校務用と新設はGIGA用との配線に分ける等検討している。

ソフト面の現状

- ・昨年度末にタブレット端末が配備され今年度から本格導入
- ・各校にICT推進リーダーを中心に研修や活用を推進
- ・先進地であり、竜王と同じソフトを使う草津市と積極的に交流

ソフト面の課題

- ・教職員のスキルアップ研修
- ・支援員等の配置の拡大

ソフト面の対策にむけて

- ・予算や人的資源の確保
- ・県や他市町との連携

GIGAスクール構想の実現へ



タブレット端末を使用した授業



教職員の研修風景

主な質問事項

問 各家庭のネット回線の環境はどうか。

答 令和2年度に各家庭のWi-Fi環境を調査したところ、環境が整っていない家庭が40軒あった。今年度のコロナ禍で国は原則一斉休校を行わないとのことで、3台貸出用のポケットWi-Fiを準備した。今後は家庭でできるように追加を検討したい。



町立認定こども園に向けての進捗状況について

内 容	時 期	場 所
入園申込	令和3年10月1日(金)～ 10月13日(水)	1号認定：各幼稚園 2号認定：教育委員会
就園時親子面談	令和3年11月24日(水)	竜王幼稚園
入園説明会	令和4年1月19日(水)	竜王幼稚園
一日体験入園	令和4年2月18日(金)	竜王幼稚園
預かり保育説明会	令和4年2月頃(未定)	竜王幼稚園
保育開始日	令和4年4月4日(月)	竜王こども園
始業式	令和4年4月11日(月)	竜王こども園
入園式	令和4年4月12日(火)	竜王こども園

主な質問事項

- 問** 現在の竜王幼稚園駐車場の安全確保はどのように考えているか。
- 答** 保護者の送迎と通学時間帯が重なる小中学生の安全確保のため、駐車場出入口に減速帯を設置する等と併せ、保護者への注意喚起と子どもへの安全指導に取り組む。

地域活性化特別委員会



中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について

・「交流・文教ゾーン」整備スケジュール

	令和2年度				令和3年（2021年）度								令和4年（2022年）度								令和5年（2023年）度				
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
事業地の動き	現況測量調査				埋蔵文化財試掘調査（1期）								埋蔵文化財試掘調査（2期3期）								交流・文教ゾーンの造成工事→小学校建設				
小学校建設					基本計画策定								基本設計・実施設計												
敷地造成					雨水排水計画・調整池検討																				
新設道路他整備					敷地造成基本設計 道路予備設計								実施設計 （用地測量含む）												
水道整備					配水管布設基本設計								実施設計												
下水道整備													実施設計												

主な質疑応答

- 問** 竜王町コンパクトシティ化構想の全体的な考え方として、出来るだけ費用を抑える必要があると思うがどのように考えているか。また、活用できる補助金等の調査・検討はしているのか。
- 答** 基本的な考えは費用を抑えランニングコストも視野に入れた中で、子どもたちにとって勉強しやすい環境を提供していく。補助金等については国等に要望していく。

町政 ここを問う!

9月定例会では11議員が
15問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
11	貴多正幸議員	・歯科診療所の今後は ・消防団員の報酬等について
12	鎌田勝治議員	・デジタル化に向けたシステムの見直しについて
	森島芳男議員	・地域防災計画で目標とする食料備蓄は
13	岡山富男議員	・避難所の開設について
	磯部俊男議員	・新型コロナウイルス感染予防にかかる対応について
14	中村匡希議員	・国保受給者にコロナ見舞金を ・人口の社会減の詳細把握を
15	大前セツ子議員	・災害に強いまちづくりを
	澤田満夫議員	・ポスト工業団地の企業誘致戦略について
16	尾川幸左衛門議員	・竜王町農業振興ビジョンについて ・ほ場の再整備の方針は
17	橘せつ子議員	・交流・文教ゾーン整備と竜王小学校の新築移転整備計画について ・地域交通「チョイソコリゅうおう」の利用促進は
18	福田優三議員	・「交流・文教ゾーン」の進捗について

各議員のQRコードを
スマートフォンで読み
取ると音声配信が聴け
るよ



近江うし丸

次回の一般質問は
令和3年12月17日(金)予定

議員の質問順は町ホームページでご確認ください。

問 議会事務局 電話 0748-58-3713

問 歯科診療所の今後は

答 現場歯科医師を始め関係者と協議し
検討していく



貴多 正幸 議員



築44年経つ歯科診療所

問 公共施設等総合管理計画において当該施設は「改修・修繕は実施済だが、安全性の確保や、老朽化による建替え等の検討が必要な施設」と評価

問 歯科診療所は、昭和52年4月にオープンし、築44年が経過している。減価償却資産の耐用年数等に関する省令によると耐用年数は39年とされており、既に過ぎていると思うが所見を伺う。

また、こうした大きな課題は早期から熟慮すべきと考えるが所見を伺う。

され、取組方針として「耐震性がなく、老朽化が進行していることを踏まえ、施設のあり方を検討しながら、必要に応じて耐震性の確保や老朽化対策を実施」と結論付けられていることから、今後の歯科診療所の運営方針にに応じて対応しなければならぬと考えている。

また、歯科保健事業の重要性に鑑み、現有施設の状況、民間医療機関との協働の可能性も含め、今後の歯科診療所のあり方について現場歯科医師を始め関係者と協議し検討していく。

問 消防団員の報酬等について

答 近隣市町の状況を踏まえ、
前向きに検討していく

問 消防団員数の減少は、本町だけでなく全国的な問題だと言える。消防団員数がこのまま減少していけば、地域防災力が低下し、ひいては地域住民の生命・身体・財産の保護に支障をきたす恐れがあると考えるが執行部の所見を伺う。

また、消防団員の報酬等についても改正すべきであると考えてるが所見を伺う。



頼りになります！わが町の消防団

答 全国的に消防団員の減少が続いているが、本町においては各自治会（区）や団員の御理解御協力により、定数を大きく下回ることなく団員の確保が出来ている。しかしながら、少子高齢化が進み、転出等による人口

減少も続いていることから、今後は団員の確保が困難となり、地域防災力の低下につながっていくと想定される。このことから、消防団規模を維持できるよう、地域の実情も考慮し、平時、災害時の団員活動の負担軽減等も含め、消防団のあり方について、消防団と協議を行い検討していく。

団員の報酬等については、令和3年4月13日付け消防庁長官より「消防団員の報酬等の基準の策定等」の通知があり、本町においても近隣市町の状況や地方交付税措置の考え方等を整理し、財政局および消防団とも協議を行い、前向きに検討していく。



鎌田 勝治 議員



問 デジタル化に向けたシステムの見直しについて

答 自治体DX推進計画により全庁的なデジタル化を推進する

① 国が推進する自治体DX推進計画の重点取組事項の一つであるRPAの利用を令和元年度から税や契約業務で試行的に進めてきた。また、本年5月から行政事務改善委員会を設置し、具体的に事務改善につながるデジタル

問 ① 行政事務の総合的な見直しについて現在までの様に取り組んできたか。
② 組織全体でデジタル化への理解を深める為に取組んできたことは。
③ 現在、新しく検討したり、見直しているシステムは。
④ システム化する為に、まずは作業の標準化が必要と思うが、業務遂行に必要な標準マニュアルは各課で整備されているか。またその内容の見直しは定期的に実施されているか。

ツールの導入を検討している。
② 各課で情報推進員を選出し説明会で啓蒙。同時に、行政事務改善委員会にて各課で自動化可能な事務作業の洗い出しを実施している。
③ 伝票作業、口座振替情報の入力作業にAIとRPAを活用した自動化を検討している。
④ 業務システムについては、操作手順や事務要領に関するマニュアルに基づき、業務毎に作業手順を明確にしているが、全庁共通の事務標準マニュアルは整備出来ていない。効果を考慮しながら標準化する業務を継続して検討したい。



行政事務改善委員会の様子

問 地域防災計画で目標とする食料備蓄は

答 最大避難者数に基づき、食料備蓄している



森島 芳男 議員



問 地域防災計画では、県が1日分、市町が家庭や自主防災組織などに2日分の計3日分の備蓄をすることが目標とされる。県内の市町が、1日分3食を想定した備蓄量を目標に定めているが、竜王町での備蓄量の現状について伺う。

答 食料備蓄については、風水害における3,056人を基本として行っている。食料備蓄量

は、避難者が避難当初に持参される分を1食と想定し、避難所での供給については、1日目1人1食、2日目からは1日2食分で炊き出し体制が整うまでの3日間5食分で、15,280食が必要となる。8月時点で16,740食備蓄している。町防災センターで保管しており、引き続き賞味期限等に留意しつつ、入れ替え等を進めながら、備蓄目標の維持に努める。



町防災センター内の備蓄倉庫



岡山 富男 議員



問 避難所の開設について

答 適正な避難所を開設・運営する



避難所でのパーティションの設置

問 大雨警報等発令時の避難所対応について伺う。

① 備蓄倉庫において、物資や資材の数量等は、避難所担当者に分かるよう明示がされているのか。
② 毎年避難訓練についても、避難所を開設する際のマニュアルや必要な資材等のチェックリストはあるのか。
③ 先日、大雨による土砂災害警戒情報に伴い、高齢者等避難が発令されたが、新型コロナウイルス感染症対策としてパ

ーティションが設置されていないかった理由か。
④ 避難者に負傷者がおられた場合、応急処置が出来る職員の配置はされているのか。

答

① 備蓄倉庫の物資や資材の数量等についてわかりやすく明示する。
② マニュアルに基づき避難所を開設し、必要な資料等についてはチェックリストをもとに、出水期前に確認をしている。
③ 密が避けられる空間が確保されていたため、設置は行わなかった。今後は避難所の状況を見てプライバシー保護の観点からもパーティションの設置について判断する。
④ 各避難所に救急箱を準備し、応急処置等の対応ができるよう、保健師又は看護師を避難所に配置している。

問 新型コロナウイルス感染予防にかかる対応について

答 接種率の向上と予防対策を徹底する



磯部 俊男 議員

問 緊急事態宣言下における新型コロナウイルス感染予防にかかる対応と学校・園での対策については。

答 ワクチン接種率は1回目85.2%、2回目79.3%で、集団接種は9月28日で終了する。10月以降の予約受付は、役場ワークチン接種コールセンターで行い、「あえんぼクリニック」「かりもと整形外科クリニック」での接種対応となる。インフルエンザ予防接種診療に影響がないよう配慮しワクチン接種率の向上に努めていく。



集団接種会場での予診風景

学校・園では昨年度より感染予防対策として、朝の検温チェック、教室には消毒液、手洗い場には石鹸を設置し、密対策では、エアコンの使用とサーキュレーターによる空気循環を行い、給食時は衛生管理と黙食の励行等の対策を行っている。来校者にも必ず検温、手指消毒の徹底を守っていただき感染予防を行っている。一方、家庭においては町教委からも文書で同居の家族に発熱がある場合や風邪症状がある場合には自宅で休養するようガイドラインを示して協力をお願いしている。

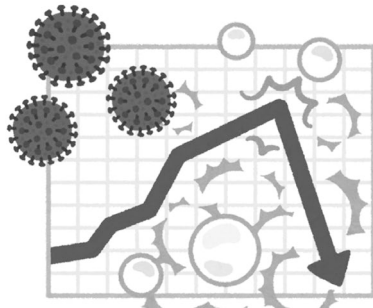


中村 匡希 議員



問 国保受給者にコロナ見舞金を

答 他市町の動向を注視する



国の助成制度（これまで）

- ・持続化給付金
- ・一時支援金

今後の助成制度

- ・月次支援金（国）
- ・事業継続支援金（滋賀県と竜王町）

個人事業主の減収補てんのフロー図

問 現在の国の制度では、自営業者が新型コロナウイルスに感染した場合、傷病手当を受けることは出来ない。全国の市町村では独自に支援を開始しているところもあり、本町も整備すべきと考えるが見解を伺う。

答 売上が減少した個人事業主には、国の月次支援金や滋賀県事業継続支援金などがあり、収入減

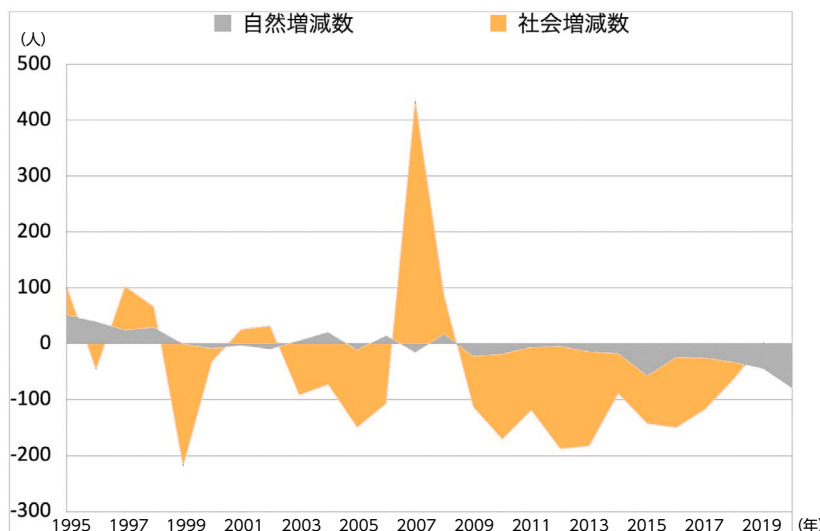
少分を保証する仕組みが制度化されている。これとは別に新型コロナウイルス感染症に感染またはその疑いがある、国民健康保険の個人事業主のみに見舞金を支給すると、他の給与所得者との間に制度の差異が生じることとなる。独自の見舞金については、現在のところ制度化する予定はしていないが、他市町の動向を注視し必要に応じて研究する。

問 人口の社会減の詳細把握を

答 アンケートを速やかに実施する

問 住民基本台帳によると平成22年～令和2年の竜王町の人口減少は、自然減が323人であり、社会減は1,244人となっている。これは本町の人口減少の4人に3人が町外転出によるものであることを示している。転出の要因は定かではなく、実態調査のあり方について見解を伺う。

答 町の総合計画では、大手企業寮の入寮・退寮者を別枠にして人口動態の推計を行っている。しかし統計データからでは、通学・結婚・就職など個々の要因を把握することは困難である。



企業寮を加味した竜王町の自然増減と社会増減のグラフ

出者85名に協力を依頼した。今後は更に掘り下げた質問も聞き、その結果を分析することにより、有効な人口減少対策を講じ把握が可能である。今後



大前 セツ子 議員



問 災害に強いまちづくりを

答 自治会との連携を図る

問 近年は台風・洪水・土砂災害など、いっしょで発生してもおかしくない異常気象が起きている。

町は町民の命を守るため、正確な防災情報・避難情報を伝える義務と責任がある。防災行政無線・ハザードマップの更新・「しるみる竜王」からの防災行政情報システム整備事業も進めているが、町民が災害時に素早く対応するため、意識を高めるための取組は。

答 令和元年度から2年度にかけ竜王町防災行政情報システム整備を実施し、防災行政無線と竜王町公式アプリ「しるみる竜王」を併用し、早期の災害情報伝達に努めている。9月5日の地域防災訓練では、戸別受信機を通して、シェイクアウト訓練と自治会配布のタブレット端末を用いた情報伝達訓練を実施した。

今後も防災情報の提供を通じ町民の防災意識を高め、防災訓練等により自治会等との連携を図りながら取組む。



戸別受信機とアプリで命を守る

問 ポスト工業団地の企業誘致戦略について

答 都市計画マスタープラン等の見直しの中で企業誘致政策を推進



澤田 満夫 議員



山面工業団地



滋賀竜王工業団地進出企業工事中

問 「次世代に誇れるまちづくり」のためには、財政力強化のためは、財政力強化のためは、人口減少時代においては法人税の増収に一層頼る必要がある。町内工業団地の分譲地が完売した現在、間髪ない企業誘致施策を一層推進すべきであるが。

様々な中、企業誘致の取り組みとして、新たな産業用地の可能性について一般財団法人日本立地センター、滋賀県および滋賀県土地開発公社と情報交換を行っている。

土地利用については、農工商住の地域特性を活かし有効利用を図ることを基本としていることから、今後も国や県の土地利用の動向を注視しつつ竜王町国土利用計画及び都市計画マスタープランの見直しの中で企業誘致の推進を図っていく。

問 竜王町農業振興ビジョンについて



尾川 幸左衛門 議員

答 幅広く人材の育成・確保を検討する

問 本町の穀物農家は、大規模の認定農業者が20件、集落農業法人が19件でその他は小規模農家である。また、認定農業者の内、60歳以上が60%を占める。また小規模農家は、徐々に離農されていくと思うが、受け皿として認定農業者、集落農業法人を継続するためには、後継者を育成することが必要であると考え、具体的な政策をビジョンにどのように反映させるのかを伺う。

答 集落営農法人の持続性の向上には、土地利用型農業の生産性の向上、園芸品目の導入などの多角化、他法人との連携や合併など、コスト低減と収益確保による経営の安定に向けた新たな対応が求められており、集落内はもとより他市町に住む子や孫、新規就農希望者も含め幅広い人材の育成・確保を検討する必要があると考えている。



稲の刈取りの様子

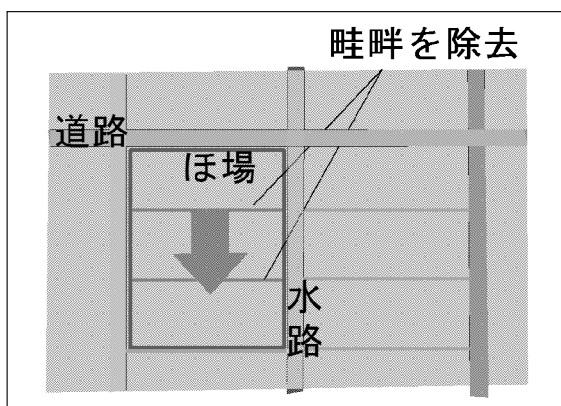


問 本町のほ場は、土地改良後約50年が経過し、作業は大型機械となり、30アールでは狭く60から100アールで効率が良い。また、畦畔も劣化が進み再整備する必要がある。農業農村整備事業を活用すると農家負担は12.5〜23%となる。ほ場の再整備に係る事業を進めるにあたっての本町の方針を伺う。

答 地域や集落で話し合いを通じて事業を実施していく方針

問 ほ場の再整備の方針は

答 国の農業農村整備事業には、農地集積などの要件を満たせば農業者負担の軽減を図りつつ、農地の区画拡大等が可能な農地耕作条件改善事業や農業基盤整備促進事業など、補助メニューが用意されている。ほ場の再整備を進めるにあたっては、農地集積などが要件となっており、地域や集落で話し合いを通じて「土地利用や農地のあり方」を検討いただき、関係機関を交えて協議を進め、事業を実施していく方針である。



ほ場の模式図



橘 せつ子 議員



問 交流・文教ゾーンと竜王小学校の新築移転整備計画について

答 基本計画、基本設計を進め、精査して示す

問 交流・文教ゾーンの中心核整備、竜王小学校の移転新築整備計画等の財政計画がまだ示されないままである。早急に示して頂きたいが町の見解を伺う。

洪水ハザードマップでは、交流・文教ゾーンの予定地は浸水想定地域で、竜王小学校のグラウンドを調整池とする計画である。竜王小学校を指定避難場所にするのは難しいのではないかと。駐車場や公園を利用することで問題ない」と回答されたが位置関係、安全性の基準を明確にして頂きたいが、町の考えは。

答 全体費用は試算した額であり、今後施設ごとの基本計画、基本設計を進め、精査して示していくが、現在も継続して検証を行っており、財源に必要な町債の借り入れによる償還も対応できると想定している。

公園や駐車場の位置は小学校敷地の北側、グラウンドは校舎南側である。水害時に重要なことは避難施設となる体育館や校舎などの建物を浸水被害から防ぐことである。そのため地盤のかさ上げやグラウンドに調整池機能を持たせるなどの対策を行うと共に、駐車場や公園などゾーン一帯の防災機能も高めていく。



現地視察の風景

問 地域交通「チョイソコ」の利用促進は

りゅうおう」の利用促進は

答 運行方法を継続的に検討していく

問 「チョイソコ」の利用について町民の方から、「利用者が減少しても、打ち切らないで」「朝夕の運行時間を延長してほしい」「身寄りもないので土・日の運行をしてもらえないか」等の要望が出されている。利用者のニーズを反映し、利用しやすい環境を整えることで、今後の利用促進に繋がるので、

①運行時間の延長
②土日の運行
について考えを伺う。

答 利用が多い70歳～80歳代の人口は増加傾向にあり、今後利用の増加が見込まれ、現状で打ち切る考えはない。運行時間の延長及び土日の運行については、乗務員の確保にとどまらず、車両と連絡を取るオペレーションしていく。

センターの独自運用が必要など運行経費の増大に直結し、町の負担増や運賃値上げに繋がる。運行方法については運行経費や利用状況、利用者の利便性向上等総合的に勘案する中で、継続的に検討していく。



チョイソコりゅうおう運行の様子

問「交流・文教ゾーン」の進捗について

答 令和7年の竜王小学校開校に向け引き続き進めていく



福田 優三 議員

答 昨年12月に現況測量調査、本年2月には用地

問 現在、コンパクトシティ化構想における「交流・文教ゾーン」の整備については地元との協力のもと順次進んでいるものと認識している。
そこで改めて、コンパクトシティ化構想の中で、令和3年度竜王町重点施策プロジェクトの重点項目の一つである「交流・文教ゾーン」事業用地整備について進捗を伺う。



「交流・文教ゾーン」の予定地

価格の基礎とするための不動産鑑定を実施し、今年度造成計画や新設道路などの概略設計、竜王小学校建設基本計画を策定する予定である。また、小学校敷地を先行して埋蔵文化財試掘調査を実施するため、事前手続きが整えば10月中旬以降にも現地調査に入る予定となっている。
町民の周知については地元と調整が整い次第、町広報やホームページを通じて整備イメージや整備スケジュールなどを公表していく予定である。

報告

第17期(後期)竜王町議会新体制決まる

第17期竜王町議会の後期の体制は、議長に貴多正幸議員、副議長に澤田満夫議員が選任されました。

あわせて、各委員会の委員が指名され以下のとおりとなりました。



副議長
澤田 満夫



議長
貴多 正幸

氏 名		澤田 満夫	中村 匡希	福田 優三	鎌田 勝治	橘 せつ子	尾川幸左衛門	大前セツ子	磯部 俊男	小西 久次	森島 芳男	岡山 富男	貴多 正幸
職 務	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
議長・副議長・監査委員		副			監								議
議会運営委員会							○		○	正	○	副	
総務産業建設常任委員会		○		○			副	○		○	正		
教育民生常任委員会			○		○	副			正			○	○
予算決算常任委員会		○	副	○	○	○	正	○	○	○	○	○	
議会広報特別委員会		○			正		○		○		副		○
地域活性化特別委員会				正		○	○	○	副	○	○	○	

あなたの声、活かしたい

Q：議会だより読みますか？

- 夫婦でしっかり目を通す。
若い夫婦にも竜王のことが分かるので勧めている。(70代女性)
- 知っている議員の質問は読む。あとは流し読み。
子ども関係の予算が出ていたら読む。(40代女性)
- 同じ月に広報りゅうおうと議会だよりが届くときは、
広報の方をじっくり読んでしまう。(60代女性)
- 写真が多くて良い。
文字だけでは流し読む人も多いと思う。(70代女性)
- 身近な話題の表紙写真は親しみが湧く。(50代女性)
- 写真や資料がたくさんあって分かりやすい(10代女性)
- 活字が多く色合いも地味。専門用語には解説が欲しい。
若者が興味を持ち、将来が楽しくイメージできる誌面を。(40代女性)
- 一般質問にQRコードがついてわかりやすくなった。(40代女性)
- 文字が多くて小さい。もっと読みやすく。(70代男性)
- 中学生が読んでも分かりやすく。(10代男性)
- カラーになればもう少し読む気がおこる。(10代女性)
- 編集が同色で単調のため流し読みになりがち。(30代女性)

議会広報特別委員会の委員で、地域の方々にアンケートを取り、頂いたご指摘を掲載します。
(誌面の都合上、表現は一部割愛しています)。読みづらい、読みやすい、ともにご意見がありましたが、全体として意識して手にとって頂く機会が少ないと感じました。見やすい誌面づくりとともに、手に取ってもらう工夫をして、これからも議会だよりの編集を行って参ります。

シリーズ
私たちのコミュニティ
美松台安全連絡協議会代表 高橋十三男
No.08

自主防犯をあたりまえの日常に！

長年の地道な防犯啓発活動により地域住民の防犯意識は確実に向上しており、目に見えて路上駐車車の激減や不審者の早期発見など確実に成果が出ております。安全で安心な住みよいまちづくりは自分達の意識を向上させることが何より大切と考えます。

また、防犯活動は地域住民だけではなく行政や警察の協力を仰ぎ共に活動することにより、さらに大きな成果が得られると感じています。

現在コロナ禍の影響で自治会行事もいろいろ不都合が生じており、活動の自粛や縮小を余儀なくされております。しかし防犯活動を行うことに休止があつてはいけなにと、活動前の検温・マスク着用・消毒の徹底・参加者の記載などを実施し、人数を制限しながら小さなことからできることを行っています。



表紙

たんぼのい（竜小・西小）

5月に自分たちの手で植えた苗が収穫期を迎えたことから、9月24日（金）に竜王小学校で、9月27日（月）に竜王西小学校で稲刈り体験が行われました。鎌を手にして稲を束ねる作業や足踏み脱穀機での脱穀作業など、昔ながらの農作業を体験しました。米作りの大変さや収穫の喜びを知っている経験ができたのではないのでしょうか。



訂正とおわび

議会だよりNo.196の13ページで、南海地震の確率を18%と記載しましたが、正しくは80%でした。

編集後記

第17期の後期役員改選により広報委員も全員交代となりました。この2年間、町民の皆様の手にとって見て頂けるよう、委員6人が各コーナーを担当し、いろいろな工夫をしながら取り組んでまいりました。

また、町民の皆様がチームで取り組んでおられる活動を「私たちONETEAM」として計8団体紹介させていただきました。また今回の議会だよりでは、町内の方々にアンケートをお願いし、その内容を掲載させていただきました。

議会だよりの編集にあたっては、原稿や写真等を多くの皆様にご提供頂いております。大変ありがとうございます。次の議会広報特別委員会からは新体制となりますが、議会だよりがより分かりやすい誌面になりますよう、今後ともご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

岡山 記

議会広報特別委員会

委員長 中村 匡希
副委員長 大前セツ子
委員 福田 優三
委員 橘 せつ子
委員 岡山 富男
委員 小西 久次